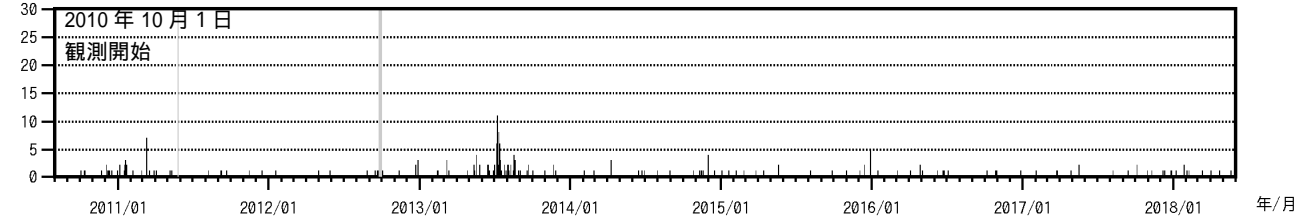
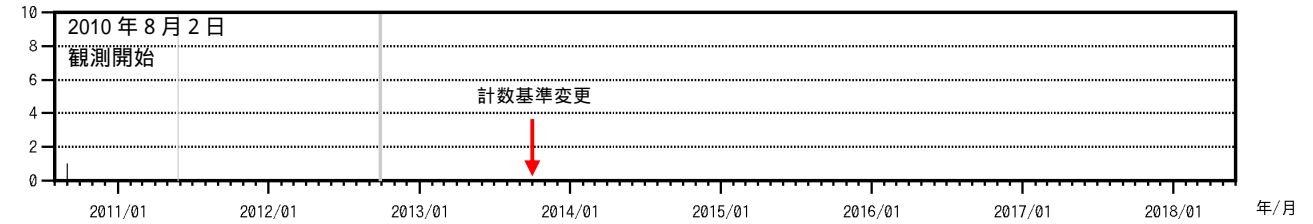


【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内
B型地震	
初期	2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

① 日別A型地震回数



② 日別B型地震回数



③ GNSS観測 若郷-新島(国) (基線長 6173m)

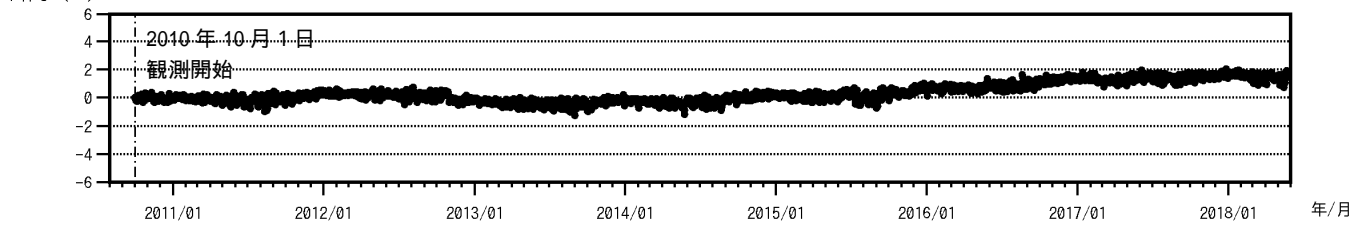


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2018年5月31日)

グラフの灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

(国): 国土地理院、図1のGNSS基線 に対応しています。

グラフの空白部分は欠測期間を示しています。

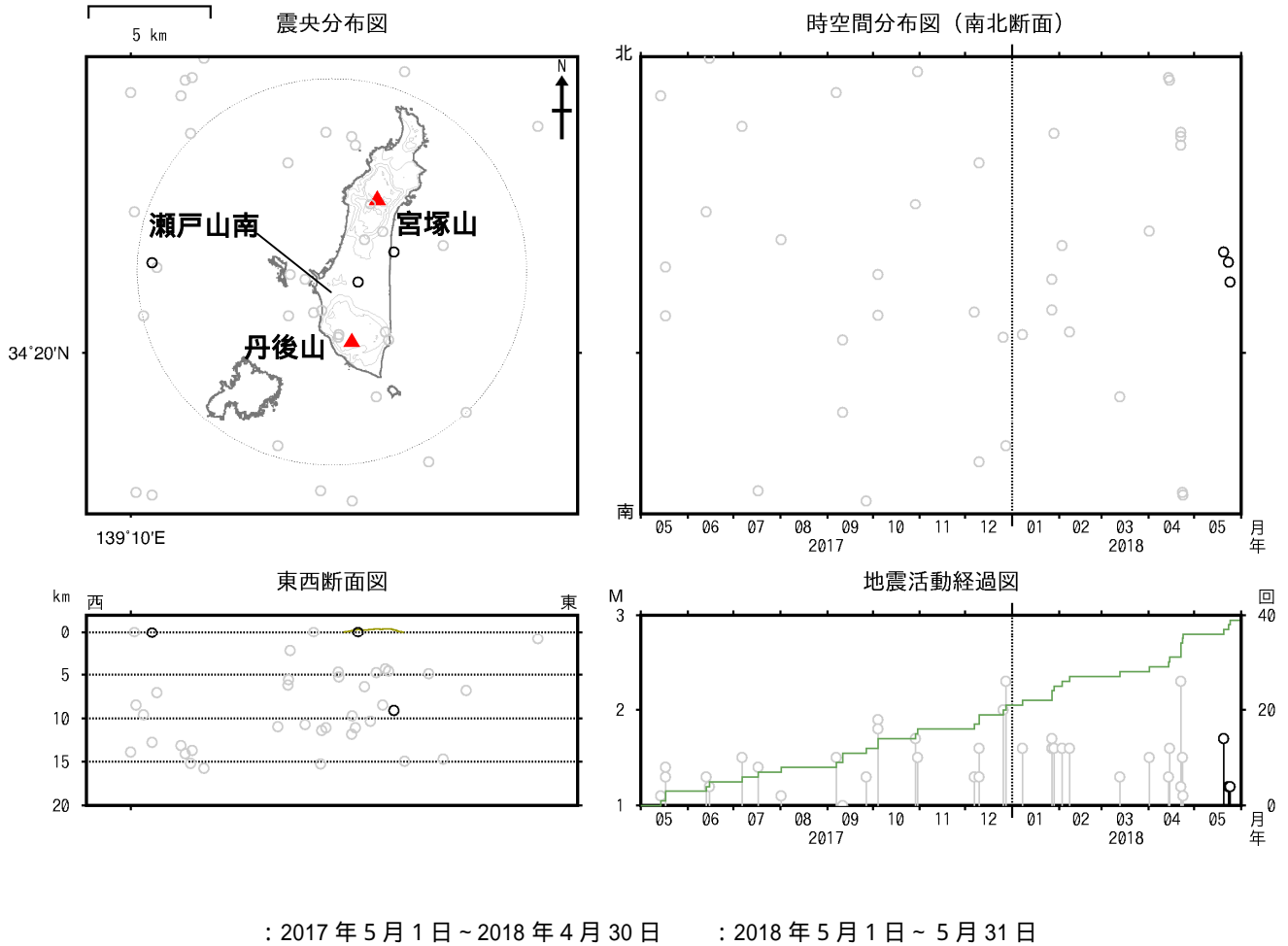


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2017年5月1日～2018年5月31日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。

M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.0以上の地震を示しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象(瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内)以外の地震が含まれるため、図3 - の日別A型地震回数とは異なります。

震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)の範囲を示しています。